

# 国際通り周辺

(沖縄県那覇市)

## 注目ポイント！

ショッピングやイベントを活かして国際的な観光地へ！



宿泊客数が約197万人から約212万人に！  
(平成12年) (平成16年)



国際通り

## コラム

国際通りの活性化を図る目的で、歩行者と特定バスの運行を優先させたトランジットモールを社会実験として実施。

成果として、来街者の増加、環境の改善がみられ、周辺幹線道路への影響も少なかったことが確認されたため、平成19年4月からの毎日曜日の本格導入を目指す。

## これまでの経緯

- |             |  |
|-------------|--|
| 昭和46年(1971) | 那覇まつりを開催。                              |
| 昭和60年(1985) | 第1回NAHAマラソン大会を開催。                      |
| 平成5年(1993)  | 第1回首里城祭を開催。                            |
| 平成6年(1994)  | 1万人のエイサー踊り隊を開催。                        |
| 平成12年(2000) | 首里城跡がユネスコ世界遺産に登録。                      |
| 平成14年(2002) | 国際通りの電柱地中化が始まる。<br>国際通りトランジットマイルを試行実施。 |
| 平成15年(2003) | 沖縄都市モノレール開通。<br>本トランジットマイル社会実験を実施。     |
| 平成16年(2004) | ギャラリー等を備えた那覇市文化テンプス館が開館。               |
| 平成18年(2006) | 琉球王国の遺産等を展示する那覇市歴史博物館が開館。              |

当該地域は「わたしの旅100選」(平成17年)の大賞として選定されたプランに含まれています。

## 主な取り組み

### 国際通り

国際通りは、戦後の焼け野原から、目覚ましい発展をとげ「奇跡の1マイル」と呼ばれており、通りには沖縄らしさを身近に感じることができる店舗が多数ある。

特にライブハウスでは、生のカチャーシー（沖縄の踊り）や島唄に触れることができるため、夜更けまで市民や観光客らで盛り上がっている。また、「那覇市ぶんかテンプス館」では琉球舞踊の公演も行う等、琉球伝統文化の体感が可能。

国際通りの主なイベントとしては、毎年夏の1万人のエイサー踊り隊、国営沖縄記念公園（首里城地区）と連携した「首里城祭」（琉球王朝絵巻行列）があり、いずれも多くの見物客で、盛大な賑わいを見せている。



夜の国際通り



1万人エイサー踊り隊

### 国際通り周辺（公設市場・やちむん通り）

国際通り周辺には、主に那覇市民の日常生活を支えている公設市場があり、豚の頭やカラフルな魚が店先で売られ、東南アジアの市場を彷彿させ、市民や観光客で賑わっている。また、やちむん通りには壺屋焼の窯元が集まり、工芸品を販売する店が立ち並んでいる。

他にも、若手装飾デザイナーが集まる浮島通り等、雑多で独特な雰囲気のある通りがあり、市民ガイドが市場や風情のある町並み等を案内。



公設市場通り

### 文化交流の拠点づくり

沖縄観光コンベンションビューローは、沖縄の伝統・文化・芸能を活用した地元の子供達と家族旅行等で沖縄を訪れた子供達との交流プログラムを開発、実施。

この活動がきっかけとなり、個人レベルで県民と県外者との交流が広がることによって、沖縄への来訪者が益々増加することを期待している。



琉球芸能の体験

#### 問い合わせ先

那覇市観光協会

Tel : 098-862-1442 <http://www.naha-navi.or.jp>